



高血圧専門医が担当する

4月～
毎木曜午前

循環器内科

外来診察を開始します



担当医師 高橋 伯夫

(資格等) 内科認定医、循環器専門医、高血圧専門医、腎臓専門医・指導医、内分泌代謝専門医、臨床検査専門医、医師会認定産業医

(略歴) 1972年京都府立医科大学卒業後、京都府立医科大学付属病院勤務、米国カンザス大学医学部心臓血管薬理学講座特別研究員などを経て、1993年関西医科大学臨床検査医学講座教授。現在関西医科大学情報センター長・附属枚方病院臨床検査部長

(主な著書) 「中枢神経系と血圧調節」(裕文社)、「早朝高血圧のことがよくわかる本」(中経出版)、「メタボリックシンドロームのことがよくわかる本」(中経出版) 他、共著含め多数

※速水副院長の外来診察は、月曜日午前に変更となります。よろしくお願いたします。

当院のリハビリ療法③
～作業療法～

作業療法の起源は古く、紀元前のギリシャと言われ、当時、精神を病む人々に対して、行われていた農園作業や土木作業などの仕事、時にはレクリエーション活動などをすることが、治療の効果があると認められておりました。このような作業をすることで心身の健康を保とうとしていたようです。そして、身体機能に対する作業療法の発展は、第一次世界大戦がきっかけとなり、世界大戦が始まると、戦傷者のリハビリテーションが国家的なニーズとして浮上し、負傷した兵に作業療法が施されたことから海外では世間一般に作業療法が認知されたようです。

では、日本における作業療法の歴史はといいます

と、ドイツ留学から帰国した医師により、1901年精神科で、裁縫や野外作業などの作業療法が始まりました。身体障害分野での作業療法が始まったのは、1942年に心身障害児に作業療法による応用動作訓練や、日常動作訓練といった身体障害克服のための訓練が行われました。その後、身体障害者の機能回復、社会復帰を目的としての作業療法が次第に体系化されていきました。そして、1965年に「理学療法士及び作業療法士法」が制定され、翌1966年、第1回国家試験が実施され、183名の作業療法士が誕生し、2008年には38,097名となり、現在では、病院や診療所だけでなく保険医療、地域サービス分野で活躍しています。

話は変わって、作業療法の「作業」とは、人が生まれてから死ぬまでに行なう行動のすべてのことを指します。例えば、寝ることや食えること、服を着る、顔を洗う、ひげそりや化粧をする、お風呂に入る、買い物、食事を作る、人と話す、働く、育児をする、お店でコーヒーを飲む、旅行をする、編み物をする、音楽、スポーツをするなど、様々なことを「作業」と捉えています。

作業療法は、病気や事故などから身体や精神に障害があることにより毎日の生活を送ることが難しい方に対して治療や訓練を行います。治療や訓練方法は、様々で、身体への徒手的な治療や、食事・トイレ動作・着替えなどの日常生活動作訓練、家事や買い物の訓練、高次脳機能の訓練、手作業による訓練など、訓練内容は様々です。一人一人に合わせた治療や訓練を行うことにより、その人らしい生活を獲得できることを目指します。

そして、当院の作業療法においても、患者様一人一人に合わせた治療や訓練をおこなっていくこと、最先端かつ最善のリハビリテーション治療を提供するのは、もちろんのこと、患者様やその家族様に対して、常にその立場にたち、温かさと思いやりのある患者様本位の作業療法を提供していきます。また、患者様と



ともに悩み、苦しみ、ともに喜べるような作業療法を目指していると考えています。

リハビリ療法部 真継 大輔